

ふるさと

栃木を元気に!

活力応援隊だより

ふるさと活力応援隊活躍中!



ふるさと活力応援隊とは?

豊富な経験や知識・技術を持った県職員 OB・OG が隊員となり、農村地域を元気にするための様々な場面で活躍しています。平成29年1月に発足し、現在、92名が隊員として登録しています。



ふるさとと活力応援隊の様々な活動

人口流出や高齢化が進む中、農山村地域では、地域の維持や活性化に必要な人材が不足し、その結果、耕作放棄地や鳥獣被害の増加、集落機能の低下などの課題が深刻化してきています。ふるさとと活力応援隊の隊員は、現役時代の知識やノウハウを生かして、地域を元気にするための様々な“ふるさと活動”に取り組んでいます。

〈ふるさと活動の例〉

「集落営農の推進」、「地域保全」、「鳥獣被害防止対策」、「直売所・農村レストランの運営」、「食育活動」など



【農業用水路の維持管理】



【鳥獣被害防止対策】



【食育活動の実践】



隊員の取組紹介



中荃 元一 隊員（宇都宮市）

～農業体験を通じた食と農の理解促進活動～

中荃隊員は、水田周辺の生き物調査や農業体験などに取り組む「メダカリ親の会」の事務局長として活動しています。

11月には、子供たちやその家族を対象に、有色米や古代米の稲刈り体験を行いました。参加者は、中荃隊員たちから、田んぼの生き物について学ぶとともに、昔ながらの「足踏み脱穀機」や「千歯扱き」による脱穀作業などを体験し、農業や食の体験を満喫していました。

今後も、このような活動を通じて、生き物の大切さ、食と農の理解促進に取り組んでいくこととしています。



【脱穀体験】



【糰子作り体験】



高橋 久美子 隊員（鹿沼市）

～エゴマで笑顔～

高橋隊員は、「エコネットかぬま」の会員として、住みよい環境を目指した様々な活動に取り組んでいます。

昨年度から、会では遊休農地の活用と健康維持を兼ねて、エゴマ栽培を始めました。高橋隊員は、現役時代の専門知識を生かして、仲間とともに「エゴマの知識とレシピ」を作成し、エゴマをおいしく、健康的に食べるための普及啓発活動を行っています。

「エコネットかぬま」では、高橋隊員の他に倉持隊員、小曾戸隊員、由田隊員が会員となっており、それぞれ得意分野を生かして会の活動を盛り上げています。



【エゴマ栽培に関する打合せ】



【エゴマ料理】



小熊 純一 隊員（益子町）

～集落営農組織で地域活性化～

小熊隊員は、ほ場整備を契機に地元の農業者と共同で設立した「農事組合法人星宮組合」の組合長として活動しています。

今後は、経営面積の拡大に併せて、大型機械化体系や露地野菜（たまねぎ）を導入し、作業労力の平準化と安定的な収益の確保を図っていくこととしています。

貴重な財産である農地を次世代に引き継ぐとともに、地域農業の更なる発展が図れるよう、現役時代に培ったスキルやノウハウを活用しています。



【飼料用米収穫】



【夏秋なすほ場】



長 修 隊員（栃木市）

～地域を「夢いっぱい」「花いっぱい」に～

長隊員は、20年前に地域農業の担い手となる農事組合法人を立ち上げるとともに、4年前からは、地域を花でいっぱいにしようと、ルピナス（登り藤）の苗を小学校、公民館などに配布する活動に取り組んでいます。

現役時代の知識や技術を生かして、地域のリーダーにルピナス苗の生産の技術的なアドバイスをを行い、毎年の地元の「国庁まつり」では、協議会から800鉢の苗が配布されています。

大人達が「生きがいとやりがい」を持って一所懸命に地域活動する姿をみて、きれいに咲き誇る花を愛でれば、子どもたちが地域に誇りを持ち、将来に「夢」をいただいて成長できるのではないかと考え、今後も様々な取組を続けていくこととしています。



【咲き誇るルピナス】



【配布される苗】



小林 俊夫 隊員（さくら市）

～経営発展を目指す農家の相談役として～

小林隊員は、現役時代に携わった農業経営指導の知識を生かし、農家の経営発展や6次産業化の取組を支援する活動を行っています。

本年度は、国の6次化認定を受けた農家や農業法人からの相談を受けて、経営発展の方向性や資金計画づくり、リスク管理などについてアドバイスをを行いました。

元気な農家の育成に向けて、今後も活動を継続していくこととしています。



【6次産業化を目指す農家へのアドバイス】



蜂巢 覚 隊員（大田原市）

～グリーンツーリズム・発酵のまちづくりへの取組～

蜂巢隊員は、農村の暮らしや食文化等を体験するグリーンツーリズムの一環として大田原市で行われている「農家民泊」の受入農家として活動しています。

平成 29 年度は、国内外の中学生等 44 名を受入れ、旬の野菜の収穫や釜で炊飯などを行う宿泊体験を実施しました。

また、発酵の食文化が息づく街づくりをすすめるため設立された「発酵のまちづくり推進協議会」の副会長として、自家製の酢や味噌などの発酵食品づくりを通して地域の魅力を伝えています。



【じゃがいもの収穫体験】



【全国発酵食品サミットへの参加】



橋本 俊一 隊員（足利市）

～地域農家・高齢者のリーダーとして活躍～

橋本隊員は、地元農業者が取り組んでいる農村が持つ、洪水や土砂崩れを防いだり、美しい景観を形成するなどの多面的機能を守り引継いでいく活動に、集落組織の立ち上げ時期からリーダーとして関わり、組織活動に取り組んでいます。

組織の参加農家は 44 戸、対象農地面積は約 40ha で、用排水路の草刈り（年間 3 回）や堀ざらいなどの活動を行っています。

また、健康づくりや交流活動に取り組む高齢者組織「下日向健康元気クラブ」を新たに設立し、そのリーダーとして活躍しています。



【用排水路の草刈り・堀ざらい作業】



活動事例報告会

平成 29 年 10 月 30 日に栃木県公館で開催した報告会では、隊員約 40 名が出席し、2 人の隊員から取組事例が報告されました。

ふるさと活力応援隊の隊長でもある福田富一知事からは、「世界でも類を見ない超高齢化社会を迎えていく中、隊員の活動は、生涯現役活動のロールモデルとしても大きな役割を担っている。地域に同様の取組が広がり、活躍する人が増えていくことを期待している。」と挨拶があり、隊員同士の意見交換が行われました。



【半田久江隊員による食育実践活動の報告】



【報告会の様子】

お問合せ先 事業の詳細について、下記の窓口にお問い合わせください。

お住いの地域	お問い合わせ先	
宇都宮市、上三川町	河内農業振興事務所企画振興部	TEL 028-626-3061
鹿沼市、日光市	上都賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0289-62-5236
真岡市、益子町、茂木町 市貝町、芳賀町	芳賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0285-82-4720
栃木市、小山市、下野市 壬生町、野木町	下都賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0282-23-3425
矢板市、さくら市、那須烏山市 塩谷町、高根沢町、那珂川町	塩谷南那須農業振興事務所企画振興部	TEL 0287-43-1252
大田原市、那須塩原市 那須町	那須農業振興事務所企画振興部	TEL 0287-23-2151
足利市、佐野市	安足農業振興事務所企画振興部	TEL 0283-23-1455
事業全般	栃木県農政部農政課企画調整担当	TEL 028-623-2272